

群馬大学医学部附属病院

群大病院だより

GUNDAI NEWSLETTER

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目39-15 / TEL 027-220-7111(代) / ホームページ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

重粒子線がん治療の保険適用が 新たに5つ増えました

重粒子線医学センター センター長 大野 達也



重粒子線医学センターは、群馬大学医学部附属病院の中央診療施設です。院内の様々な診療科や部門と連携して、患者さんに最善の治療となるよう努めています。当院の重粒子線がん治療は、2010年に先進医療として開始されました。地域別には、地元の群馬県のみならず、隣接している埼玉県、長野県、栃木県、新潟県からも多くの患者さんが紹介されています。これまでの治療患者総数は5,500人、昨年度の患者数は750人を超え、順調に実績を重ねています。

先進医療として実施された医療技術の安全性や有効性は定期的に厚生労働省に報告され、公的医療保険の適用となるかどうか判断されます。重粒子線治療では、2016年に国内で初めて骨軟部腫瘍が保険適用となり、2018年には前立腺がんと頭頸部腫瘍が追加されました。さらに本年4月からは、5つの疾患（4cm以上の肝細胞がん、肝内胆管がん、局所進行膵がん、手術後の大腸がん再発、子宮頸部腺がん）が保険適用として認められました（表1）。いずれも根治的な手術が適応とならない場合です。一方、肺がん、肝細胞がんと婦人科がんの一部、肺・肝臓・リンパ節に限局した転移がん等は、引き続き先進医療として実施されています。

重粒子線治療の適応となる病状については、群馬大学重粒子線医学センターのホームページから情報入手することができます。ご自分の病状について確認したい場合、まずは現在の担当医にご相談ください。

重粒子線治療の対象となる主ながん

部位	病状	公的医療保険	先進医療
頭頸部	口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く	○	
肺	臨床病期がⅠ期からⅢ期まで		○
肝 臓	肝細胞がん（4cm以上）*	○	
	上記以外の肝細胞がん		○
	肝内胆管がん*	○	
膵 臓	局所進行性膵臓がん*	○	
大 腸	術後骨盤内再発*	○	
子 宮	頸部の腺がん*	○	
	頸部の扁平上皮がん、悪性黒色腫		○
前立腺	前立腺以外に転移がない	○	
骨軟部	骨や軟部組織から発生したがん（肉腫）*	○	
転 移	肺、肝臓、リンパ節のいずれかに限局*		○

*根治的な手術が適応とならない場合

○は2022年4月に新たに追加されたもの

も く じ

- 重粒子線医学センター センター長ご挨拶 …… 1 ページ
- 救命・総合医療センターの役割について …… 2 ページ
 - ・救急部門 ・総合診療部門
- 患者支援センターからのお知らせ …… 3 ページ
 - ・第12回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告
 - ・群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告
- 病院探検！「入退院センター」 …… 4 ページ
- 野菜と花で憩う「ホッと農園」ができました！ …… 4 ページ
- 「重粒子線がん治療施設」見学会を実施します …… 4 ページ



救命・総合医療センターの役割について

救急部門

大嶋 清宏

救命・総合医療センター救急部門は、救命救急センターおよび救急科として、24時間365日救急患者に対応しています。2022年7月現在、救急科専従医師数13名（うち1名が産休中、1名が他施設で研修中）、看護師数30名で運営しています。群馬県内唯一の大学病院としての強みを活かした高度専門医療を要する重症救急患者対応（3次救急）のみならず、walk-in で来院される軽症な患者さん（1次救急）や中等症で入院加療が必要な急患（2次救急）にも随時対応しています（2015年4月から地元である前橋市の二次救急輪番制に参加しています）。図1は当院における救急車およびドクターヘリの受入件数の推移です。2020・2021年はコロナ禍の影響で全国的にも救急搬送件数は減少しましたが、ここ数年は年4,000件以上を受け入れています（因みに、2017年度の救急車受入件数は42国立大学病院において第4位でした）。

また救急科では現在、北2階に19床の一般病床があり、入院患者管理も行っています（2021年度には769名が救急科に入院）。特に重症救急症例はICU入室の上、ICUスタッ

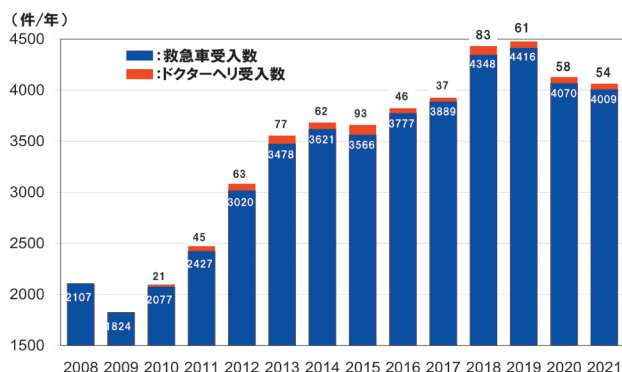


図1 当院における救急車およびドクターヘリ受入数

フと協力しながら診療にあたっています。さらに、現状では月・水の日勤帯のみですが、前橋市消防局の協力のもと、前橋ドクターカー群大を運営し、病院前救急医療にも積極的に取り組んでいます。看護師さん達は血管造影室勤務も兼ねており、予定のみならず、緊急に実施される血管造影検査・処置に対応しています。災害医療チームであるDMATの有資格者の医師・看護師も複数在籍しており、災害医療対応も重要な役割と考えています。多忙な毎日ですが、気の置けないスタッフ同士、お互いに協力し合いながら診療にあたっています。



総合診療部とは常に連携しながら、毎週月曜12:00～救急科カンファレンスには総合診療部の先生方にもご参加いただき、救急科の患者さんに関して大変有益なご助言を頂戴しています（同カンファレンスには、感染制御部スタッフの方々や画像診療部の先生方にも毎回ご参加いただいています）。救命・総合医療センター体制は今後とも是非継続していきたいと思っております。

救急医療は当部門のみで完結できるものでなく、病院全体で取り組まなければ対応できません。これまでの救急医療に関する当院の実績は、病院職員皆様のご尽力の賜物に他なりません。通常業務で多忙を極める中、急患対応をお願いするのは大変心苦しくもありますが、そのような折にも円滑に対応くださる病院職員の皆様には、スタッフ一同、心から感謝しております。地域の方々のために、今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

総合診療部門

小和瀬 桂子

総合診療部では、群馬大学医学部附属病院の機能を十分かつ効率的に発揮するため、専門診療科と密に連携しながら、患者さんの健康上の問題を広い視野から総合的に捉える全人的医療を実践するよう心がけております。どのような疾患、お悩みをお持ちの方でも、可能な限りの安心感、満足感、納得感をご提供できるよう、鋭意努力いたしております。ご自身の症状がどの診療科に該当し、どの専門外来を受診したらいいかわからない方、なかなか解決しない健康上の悩みを持つ方など、特定の臓器や疾患に限定せず幅広い視野から総合的にとらえる診療を行っております。具体的には、原因不明の発熱、原因がわからない痛み、しびれ、むくみ、めまい、倦怠感、咳、検査値異常、新型コロナウイルス感染症後遺症、等々、の患者さんが受診されております。

患者さんの症状に応じて診療しますので、健康上の問題に悩んでいる高校生以上（あるいは16歳以上）の方は紹介状をご持参

の上、受診できます。但し、専門診療科の受診を希望される場合は、原則、各専門診療科宛の紹介状をご持参の上、外来棟1階の総合案内で相談いただきますようお願いいたします。院内の専門診療科での診療が適切と判断した場合は、各専門診療科へご紹介いたしますが、総合診療部で診療を継続する場合や、より適切な医療施設をご紹介する場合もあります。なお、原則、入院による診療は担当していません。

また、東洋医学（漢方）と西洋医学の融和を目指した医療を実践するため、和漢診療外来も行っております。漢方と西洋医学の中から患者さんにとって最善と思われる方法を選択し診療させていただきます。西洋医学の診断で異常がないと言われているが体調がすぐれない方（虚弱、冷え症、倦怠感など）、西洋医学の治療の補助治療として和漢診療を希望される方（アレルギー性疾患、癌、消化器・呼吸器疾患など）、女性の性周期に関連する体調不良をお持ちの方（月経困難症、月経前症候群など）は、紹介状をお持ちの上、受診いただけますようお願いいたします。

患者支援センターからのお知らせ

第12回 群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会の開催報告

令和4年7月7日（木）に、群馬県医師会ならびに郡市医師会の先生方や地域医療連携登録施設の皆様及び群馬県内医院の皆様をお招きし、第12回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を開催いたしました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、群大病院臨床大講堂及びZoom



ミーティングによるハイブリッド形式での開催となりましたが、計190名と多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに会を終えることができました。お忙しい中ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

群大病院は、地域に根ざした病院として、今後も地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、群馬県の医療に貢献していく所存です。皆様の変わらぬご指導とご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。



群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座の開催報告

群馬県のがん対策推進を目指し、「群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座」を、当院ホームページにおいてオンデマンド配信しております。今回は「前立腺がんの診断と治療について」をテーマに、群馬大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座泌尿器科学分野教授の鈴木和浩先生と群馬大学医学部附属病院がん看護専門看護師看護師長の北田陽子先生からご講演をいただいております。昨年同様多くの皆様にご視聴いただきたければ幸いです。配信期間は令和4年8月1日～令和4年10月31日までとなっております。

オンデマンド
配信
視聴無料

市民講座

配信期間
2022年8月1日(月)～2022年10月31日(月)

※期間中はいつでも視聴可能です。

司会：榑本 憲史 群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長
後援：榑本 憲 群馬大学医学部附属病院院長

講演1
「自分らしい前立腺がんの治療方法を選ぶために」
群馬大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 看護師長 北田 陽子先生

講演2
「前立腺がんの早期発見と新しい治療について」
群馬大学大学院医学系研究科 泌尿器科学講座 泌尿器科学分野教授 鈴木 和浩先生

web
視聴方法
群馬大学医学部附属病院ホームページからご視聴いただけます。
どなたでもご自由にご覧いただけますので、ぜひご覧ください。
URL: <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/?p=12646>

申込み 不要 費用 無料
お問い合わせ TEL: 027-220-7854 群馬大学医学部附属病院 医療課
共催 群馬県がん診療連携協議会 / 群馬県 / 群馬大学医学部附属病院

申込 不要

病院探検！「入退院センター」

入退院センターでは、看護師・事務職員が患者さんの情報を伺い、入院に関する手続きや入院生活に関する説明を行っています。また手術予定の方には薬剤師による内服薬の確認を行っています。患者さんが安心して入院生活の準備を行えるよう入院前から介入し、入院後は地域の在宅療養支援者とも連携して退院に向けた準備を行い、入院から退院まで継続した支援を目指し取り組んでいます。



多職種連携しています



野菜と花で憩う「ホッと農園」ができました！

病院の「農園」がスタートしました！

場所は、立体駐車場南側です。隣にある精神科神経科の病棟で取り組んでいる作業療法のひとつとして、野菜や花を育てています。土に触れて植物を慈しむ作業が、ここを癒し元気を回復させてくれます。病気の悩みを忘れることができる「ホッと農園」として、通院や入院の合間にぜひお立ち寄りください。



野菜の成長からワクワクと元気をもらっています

「重粒子線がん治療施設」見学会を実施します。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、人数と時間を制限し開催します。見学は40分程度のコースとし見学時間は、こちらで設定させていただきますので、ご了承ください。

日時：令和4年10月22日（土）13：00～16：00

会場：群馬大学医学部附属病院（前橋市昭和町3-39-15）

定員：100名（定員を超える場合は、抽選とさせていただきます）

事前申し込みが必要です。

詳しくは、重粒子線医学センターのホームページ(新着情報)をご覧ください。



群大 重粒子



群馬大学医学部附属病院「群大病院だより」

第13号 2022年9月

編集 ■ 群大病院だより編集委員会

発行 ■ 群馬大学医学部附属病院

発行日 ■ 2022年9月1日

ホームページ ■ <https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。